

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス都筑ふれあいの丘		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 20日		2026年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		2026年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・外出が多い(お散歩や外出レク)	・担当を決め、安全管理を行っている。	・地区センターや療育センターが近いので活用し地域交流の場も増やせるよう今後取り組んでいければと思う。
2	・各児童に応じて個別課題が設定され、療育グッズなども豊富に用意がある。	・個別課題に取り組みやすいよう机の配置や別室を活用している。	・定期的に全体でモニタリング時間を設け、よりよい支援が提供できるよう時間を作りたい。
3	・個々の状況に合わせたトイレ誘導の時間管理がしっかりされている。	・記入用紙を用意しカラーペンで目印をつけ管理を行いチェック担当をつけ、トイレトレーニングに取り組んでいる。	・現状を維持しながらトイレ卒業に向け保護者様や学校と定期的に共有をし取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・換気がしにくい。	・安全面を考えると脱走リスクなどの危険性高い。 ・外の騒音から聴覚過敏の児童がパニックを起こす可能性がある。	・活動前の時間に換気を行う。 ・網戸ロック・ストッパーも活用。 ・空気清浄機の増設とCOモニターの設置検討。
2	・クールダウンスペースがないに等しい。	・構造的、制度的に訓練室などをつくるのが困難。	・ポップアップテントの設置等の検討。
3	・細かい作業支援ができない。	・異食児童の安全確保の為。 ・共有スペースでは落としたりパーツを即座に回収しきれないリスクがあり、あとから誤飲につながる危険性がある。	・教材のトレイ化、蓋つきにし管理を徹底。 ・面談室での環境設定を行うなどを工夫。